学生支援

学生相談室

学生相談室は、学生一人ひとりが抱えているさまざまな悩みや問題が、より良い方向に向かうよう一緒に考える場所です。

大学生活で直面する悩みや相談の内容によって、教職員や精神科医、心理カウンセラー、弁護士が対応します。各種セミナーやグループワークなども実施しています。

障害のある学生への支援

障害のある学生で学生生活に支援を必要とする皆さんへのサポートを、全学の取り組みとして進めています。学修面の相談から、キャンパス内での学修環境・生活環境一般の相談まで、個々の学生の皆さんの困っていることや障壁となっていることの解決・解消にむけて、可能な限り対応していきます。

一人暮らし支援

入学を機に一人暮らしをはじめる学生でも安心して大学生活を送れるよう、多摩・都心キャンパスの大学生協では、幅広く物件を紹介しています。また、多摩キャンパス住まいの斡旋係では学生向けマンションの独自開発、アパート管理会社「(株)学園中央開発」を設立し、約1,000室の物件管理も行っています。都心キャンパスでは、信頼のおける協力会社と業務提携をして部屋探しをサポートしています。

保健センター

保健センターは、多摩・後楽園・市ヶ谷田町・茗荷谷の4キャンパスにあり、学生・教職員の「健康管理」と「診療」を行っています。

学生の健康管理としては、学校保健安全法に則り、毎年4月上旬に「定期健康診断」を実施し、健康診断事後措置として二次検診を行っています。診療では、学内で体調が悪くなった時などに医師の診察と薬の処方が受けられます。また、保健師・看護師が常駐し、さまざまな健康上の相談を受け付けています。

保健センターは、学生の皆さんが健康な身体で、充実した学生生活を過ごせるようにサポートしています。

大学生協

大学生協は、組合員(学生・教職員)の大学生活がより豊かで快適なものとなるよう、組合員の出資金により運営されています。

多摩キャンパスの店舗では、学生食堂をはじめ、書籍、文具、パソコンなどの日用品はもちろん、国内・海外旅行や各種チケット、教習所申込、共済保険など、多岐にわたったサービスを提供しています。後楽園キャンパス店では学生食堂、生活用品の他に白衣、保護メガネ、製図用紙など理工学部ならではの商品も扱っています。また、法学部移転に伴い、茗荷谷キャンパス店を開設し、市ヶ谷田町キャンパス店とともに都心キャンパスの学生生活を支えています。

HAKUMON Chuo

中大生が作る中大生のための情報誌「HAKUMON Chuo」。1987年から在学生向けに発行している広報誌で、2020年からはWeb版での記事配信も始まりました。学生記者が取材・執筆した原稿を、新聞記者出身の編集長が校正し、誌面を制作しています。

さまざまな分野で活躍・活動する学生を記事で紹介し、大学の建学の精神「實地應用ノ素ヲ養フ」や、ユニバーシティメッセージ「行動する知性。」を学生の間に広く喚起するような読み応えのある内容を目指しています。

Web版：https://www.chuo-u.ac.jp/hakumon_chuo/

食の多様性

食の多様性を図り、学生の食生活をサポートしています。ハラール食品を必要とする学生・教職員が手軽に購入できるよう、ハラール認証をうけたインスタント麺やクラッカーを各キャンパスで販売しています。

災害時用物資の備蓄

災害発生時対応の一環として、災害時用物資の備蓄を行っています。約3日分の水・食料品の他、簡易トイレ、アルミブランケット、フリース毛布、マット等を備蓄(備蓄品の種類および配備数量は、「東京都帰宅困難者対策条例」を参考)や、池の水などを飲料水用に浄化できる造水機を設置(多摩・後楽園キャンパス)しています。